



平成20年4月23日

各 位

会社名 株式会社日阪製作所
代表者名 代表取締役社長 林 正一
コード番号 6247
上場取引所 東証・大証 第1部
問合せ先 管理部統括部長 小西 康司
電話番号 06-6201-3532

**特別損失の発生及び平成20年3月期の通期業績予想の修正、
並びに平成21年3月期の業績予想に関するお知らせ**

本日開催の取締役会にて、特別損失の発生及び平成20年3月期の通期業績予想の修正並びに平成21年3月期の業績予想を策定しましたのでお知らせ致します。

特別損失は平成20年3月31日現在において当社が保有する投資有価証券（NIBキャピタル銀行ユーロ円債：券面額5億円、償還日2033年1月28日）及び株式（株式会社タクマ発行株式：株数344,000株）に関して、金融商品会計基準に基づく減損処理を実施することにより発生するものです。更に当該特別損失発生に伴い、平成20年1月30日付発表の通期業績予想を修正致します。

また、平成21年3月期業績を策定したことにより、業績予想を公表致します。
詳細は下記をご参照下さい。

記

1. 特別損失の内容

- (1) NIBキャピタル銀行ユーロ円債は、NIBキャピタル銀行（旧オランダ国立投資銀行）発行のユーロ円債です。発行体格付け並びに長期債務格付け自体の変更もなく、また信用リスクの悪化などありませんが、カウプシング銀行（アイスランド最大手）との合併中止やサブプライム問題に基因する需給関係等の要因でCDS評価スプレッド（クレジット・デフォルト・スワップ）の異常な上昇により、時価の大幅な下落に見舞われました。その結果、当該ユーロ円債の時価評価の下落率が約51%となったことにより、高い確率での回復見込みはあるものの、保守主義の観点から減損処理を実施致します。
- (2) 重要な取引先である株式会社タクマの株式（コード番号：6013）は、相場環境の悪化等があり、簿価の50%以下の株価（期末株価：270円/株、期中最高株価：830円/株）となり、保守主義の観点から減損処理を実施致します。
- (3) 以上の(1)(2)による有価証券評価損459,383千円を特別損失として計上致します。
- (4) なお、工場建替、設備移設等に伴う固定資産除却損893,782千円も特別損失に計上致しますが、当該損失は平成20年1月30日付「平成20年3月期通期業績予想修正に関するお知らせ」発表時点で見込んでおります。

2. 平成 20 年 3 月期の業績予想の再修正について（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	《参考》 受注高
期初予想値 (平成 19 年 5 月 10 日)	27,300	4,100	4,600	2,400	73 円 76 銭	32,000
前回発表予想 (A) (平成 20 年 1 月 30 日)	28,000	4,250	4,700	2,400	73 円 76 銭	34,000
今回修正予想 (B)	29,190	4,618	5,079	2,243	68 円 97 銭	34,652
増減額 (B - A)	1,190	368	379	156	4 円 79 銭	652
増減率 (B - A) / A	4.25	8.68	8.08	6.53	6.49	1.92
《参考》前期実績 (平成 19 年 3 月期)	24,894	3,688	4,313	2,435	79 円 90 銭	31,829
《参考》対前期比	117.26	125.21	117.77	92.09	86.32	108.87

注) 1. 配当につきましては、平成 19 年 11 月 7 日付発表の「平成 20 年 3 月期 中間決算短信（非連結）」から変更はございません。

2. 平成 20 年 3 月期の決算発表は平成 20 年 5 月 13 日を予定しております。

3. 平成 21 年 3 月期の業績予想（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	《参考》 受注高
上 期	15,380	2,172	2,372	1,450	44 円 60 銭	17,220
下 期	17,620	2,828	3,028	1,850	56 円 91 銭	17,780
通 期	33,000	5,000	5,400	3,300	101 円 51 銭	35,000

注) 詳細につきましては、平成 20 年 2 月 27 日付発表の「次期中期経営計画『R - 0 8』の概要に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上

業績見通しにつきましては、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づいて判断をしており、今後、様々な要因によっては予想数値と異なる可能性がございます。